

2021 Japan National Team Report "サポーター"



報告者氏名	児島 明子
大会名	世界選手権
開催地	イタリア ガルダ湖
大会期間	2021年 6月30日～7月10日

- 帰国後1ヶ月以内にチームでまとめた上、JODA海外派遣担当西村までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はなさいで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地或の様子	修好といえる、のどかなリゾート地という印象でした。 開会式で街中をパレードしましたが、地元の業界間で紹介されていたこともあり、沿道から拍手と笑顔で暖かく歓迎されました。
宿泊場所	ハーバーから徒歩20分、湖まで3分程度の戸内にあるホテルでした。 (家族それぞれツイン、コーチシングルで利用) ハーバーの近くには1軒、ハーバーからホテルの道中に1軒スーパーマーケットと小型のショッピングモールがあり、またホテル1階や界隈にレストランなどの飲食店も数軒あり、便利な立地でした。
大会のサポーターへの対応は	NORの通り会場に入れないつもりでしたが、ほとんどチームで入場を易したことで、IDチェックは行われず、最初のはIDまたはそのネックストラップを視認して通している様子をでした。(チャラとでも見えればOK)
選手たちのエピソード いつもどうでしたか?	日差もありましたが、それよりもイタリア到着時のトラブルのため、食事と睡眠が崩れたり、荷物の心配など、旅のスタートから気持ちもイ本モハードだったと思います。加えてそれぞれ最後、最初のOPでの海外選手権であったので、緊張もそれ以上にあったと想像します。体調は全員元気に過ごしました。
サポーターとして気づいたことは?	食事・コロナ禍のため、日本から持参した食料品などは各家庭で準備しました。開催中の食事は提供されましたが、生野菜が全く出ず、別途サラダ、フルーツを用意しました。 荷物・船台はホテルの裏、リボンで目印をして取り間違いを防ぎました。 写真・選手の気が消えないう牙魔にならないう、自然なショットを中心に撮りました。
海外の選手を見て感じたことは?	自国以外の大会参加口に慣れているように見受けられました。
日本の選手を見て感じたことは?	コロナ禍での渡航や大会参加、トラブルなど、通常とは違う大変さのバタクありましたが、子供達は常に冷静で落ち着いていて、とても素直な子だったと思います。

Spare day の過ごし方は？	6月28日 ゴムボートで海上視察（一部言水洞） 29日 言水洞、海上練習（2～3時間） 30日 言水洞終了、帰り道にスーパーマーケット視察 7月5日 山へハイキング（マリンハイキング） 6日 往復で昼食・土産等買い付け （5日・6日は、チームレース不参加のため1日休み）
日本チームとしての課題はありましたか	強い国は1人だけではなくチームみんなが強いと、チロギ選手コーチが印象づけていたのが印象的でした。 今回はトラグリの為には良かったのですが、予備日の練習時間が少なく残念でした。小艇日もちろん貴重ですが、加えて現地での練習も重要と感じました。
JODAへの要望	コロナ禍という異例なケースで、制限や困難が日々更新され、準備段階から大変でしたが、多大なお力添えと勇気をいただき、大変感謝しております。本当にありがとうございました。
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会